

桑名市政記者クラブ資料

表 題 (テーマ)	獣害対策事業にともなう森林伐採と形状変更について (イヌナシ自生地への影響)		
日 時 (時期)	平成24年1月19日(木)		
場 所	イヌナシ自生地周辺(多度町古野)		
内 容 (特記事項)	<p>桑名市では、昨年より獣害対策とし侵入防護柵(フェンス)の設置にむけて地域とともに取り組んでいる。</p> <p>多度山麓を棲みかとするシカ・イノシシの被害は近年増加する傾向にあり、国の施策もあり、多度山麓に連続した侵入防護柵を設置することにより、被害を無くすことが可能であると考へのもと実施している。</p> <p>このような中、フェンス設置予定場所である多度町多度の国指定の天然記念物であるイヌナシ自生地上流部で、樹木の伐採と自治会によって上地の形状変更を行ってしまった。</p> <p>このことに伴う影響について、イヌナシ自生地保護活動委員会会長 葛山先生ほか各専門の先生や県の関係課の方々が現地調査をした。</p> <p>先生方からは、下流域のイヌナシについては、直ちに影響を及ぼすものではないが、イヌナシ周辺の環境や生態系に影響をおよぼす恐れがあるので、早急な対策が必要である旨のご意見をもらう。</p> <p>今後の対策については、各先生方のご指導も受けながら進める。</p> <p>この区域は、三重県立水郷公園及び保安林に指定されているため、現在、関係機関とその対応についても協議しているところである。</p>		
担当課係名 担 当 者 電 話 番 号	多度総合支所 地域振興課 水野新司朗 49-2012	広報担当者 氏 名 電 話 番 号	◎
記者会見の 有 ・ 無	有 無		
提 出 日	平成 24 年 1 月 19 日(木)		

状況報告

- 1月10日 夕方 桑名市教育委員会文化課より問い合わせ
- 1月11日 朝、現地にて地形の変更を確認。四日市森林環境事務所公園担当へ現状報告を行い、伐採と地形の変更について協議。
- 1月12日 四日市環境事務所にて、協議。公園内における書類提出。
- 1月13日 現地での、関係者打ち合わせ
古野副自治会長、イヌナシ自生地保護活動委員会会長 葛山博次、三重県文化財保護室、三重県環境森林部自然環境室、桑名市教育委員会 教育長、文化課長、職員 多度町総合支所支所長、地域振興課職員
- 1月18日 現地での、三重県関係者現地調査 応急対策と今後の対応協議
桑名市文化財保護審議会委員、桑名市教育委員会 文化課
三重県農水商工部農山漁村室獣害対策グループ
三重県四日市農林商工環境事務所 森林・林業室林業振興課
三重県四日市農林商工環境事務所 森林・林業室森林保全課
三重県桑名農政環境事務所農政・普及室
多度総合支所支所長 多度地域振興課
古野自治会長

内容

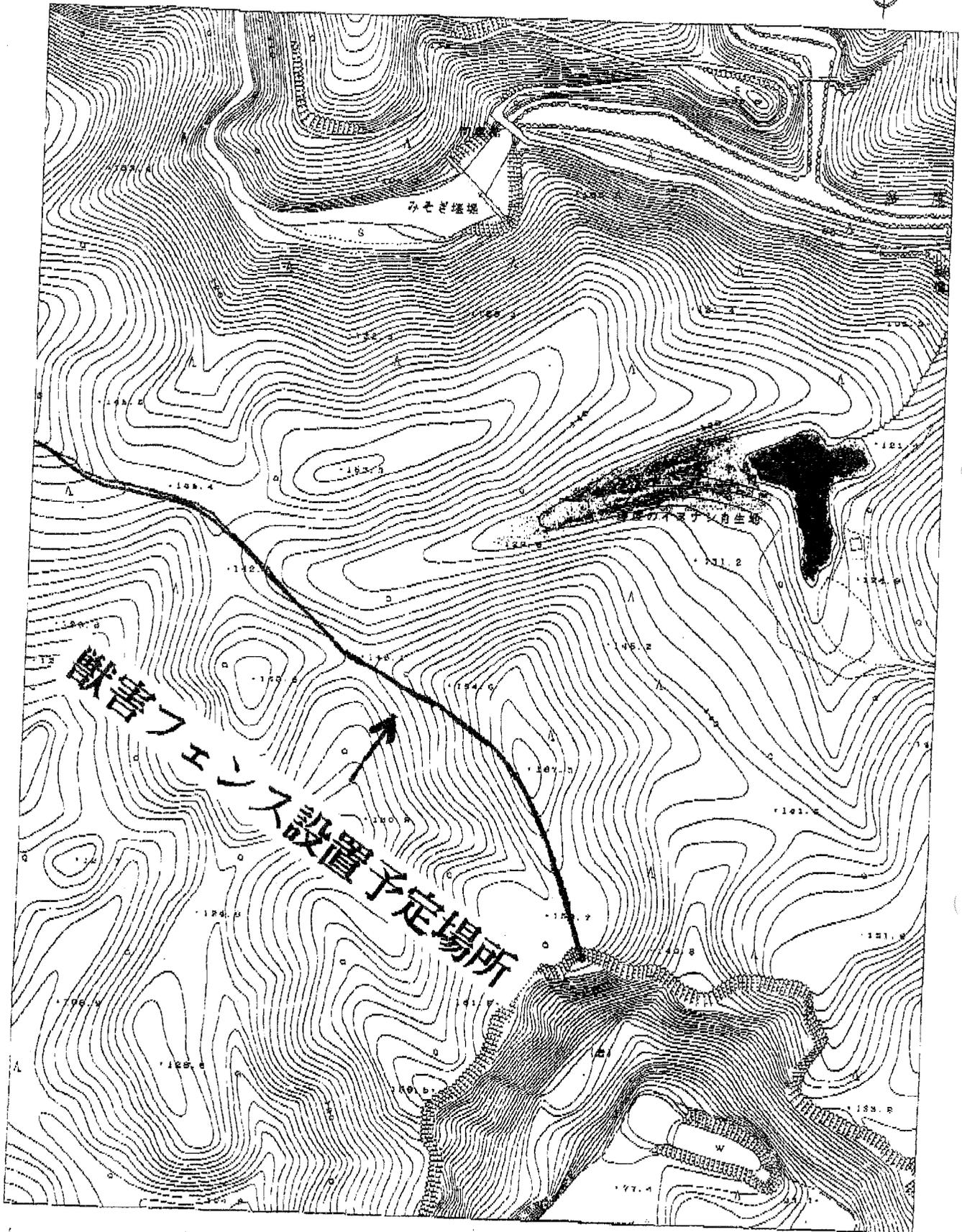
国天然記念物イヌナシ自生地上流部で樹木の伐採と獣害対策用フェンス設置のための作業路を自治会が造る。

現地調査により、作業路から湿地帯やイヌナシ自生地へ土砂が流れ込まないように措置を求められた。

応急措置として、土砂流入を防ぐために、土嚢とブルーシートで対応をした（19日）

県立自然公園条例及び森林法関連については、現在、三重県四日市森林林業室と協議中。

位置図



1:2,500

